

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道331号 <small>いとまん</small> 糸満道路	事業区分	一般国道	事業主体	内閣府 沖縄総合事務局
起終点	自： <small>おきなわけんいとまんしにしぎき</small> 沖縄県糸満市西崎 至： <small>おきなわけんいとまんしまえざと</small> 沖縄県糸満市真栄里			延長	3.4km
事業概要	糸満道路は、沖縄西海岸道路の一部を形成し、国道331号の渋滞緩和、那覇港・那覇空港へのアクセス性向上に資するとともに、那覇都市圏の交通混雑の緩和を目的に計画された2環状7放射道路として、県南部地域の活性化や物流効率化、さらには観光交流を支援する道路で糸満市西崎から糸満市真栄里に至る延長3.4kmの地域高規格道路である。				
H2年度事業化	H10年度都市計画決定 (H一年度変更)	H10年度用地着手	H12年度工事着手		
全体事業費	505億円	事業進捗率	約84%	供用済延長	3.4km
計画交通量	21,900台/日				
費用対効果 分析結果	B/C <small>(事業全体)</small> 1.5 <small>(残事業)</small> 2.8	総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 72/617億円 事業費：58/587億円 維持管理費：14/31億円	総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 205/946億円 走行時間短縮便益：177/776億円 走行経費減少便益：16/111億円 交通事故減少便益：11/58億円	基準年 平成25年	
感度分析の結果	【事業全体】 交通量：B/C=1.4~1.7 (交通量±10%) 【残事業】 交通量：B/C=2.3~3.4 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.5~1.5 (事業費±10%) 事業費：B/C=2.6~3.1 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.5~1.5 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=2.8~2.9 (事業期間±20%)				
事業の効果等	①円滑なモビリティの確保 ・損失時間の削減量：【整備なし：122万人時間/年→整備あり：28万人時間/年】 ②物流効率化の支援 ・農産物出荷の搬送時間の短縮が見込まれる。JA糸満の集荷場に近い糸満市真栄里交差点～中央卸売市場（浦添市）の所要時間が短縮【現況一般道：44分→将来糸満道路完成開通：31分】 ③個性ある地域の形成 ・那覇空港から沖縄戦跡国定公園の中核施設である平和祈念公園の所要時間が短縮【現況一般道：43分→将来糸満道路完成開通：31分】 ④安全で安心できる暮らしの確保 ・糸満市役所周辺から豊見城中央病院（二次医療施設）への所要時間が短縮【現況一般道：22分→将来糸満道路完成開通：12分】 ⑤暫定開通の効果 ・規格の高い道路を使う割合が増加し、交通安全に寄与（国道331号の交通量が34%減少） ⑥地球環境の保全 ・CO2排出量が1.6万t/年削減（0.85%）削減【188.4万t/年→186.8万t/年】 ⑦生活環境の改善・保全 ・NOX排出量が10.39t/年削減（62%）削減【16.70t/年→6.31t/年】 ・SPM排出量が0.64t/年削減（64.0%）削減【0.99t/年→0.36t/年】				
関係する地方公共団体等の意見	沖縄西海岸道路は、沖縄本島の骨格となるハシゴ道路において、主要な幹線道路となる地域高規格道路であり、那覇空港自動車道、沖縄自動車道と一体となって、車社会である本県の振興発展に極めて重要な役割を担っている。 豊見城道路・糸満道路は、その沖縄西海岸道路の一部を形成し国道331号の渋滞緩和、那覇港・那覇空港へのアクセス向上に資するとともに、那覇都市圏の交通渋滞緩和を目的に計画された2環状7放射道路として、県南部地域の活性化や物流効率化、さらには観光交流の支援する幹線道路である。 平成24年3月の豊見城道路・糸満道路全線暫定供用後には、国道331号の混雑が多少緩和されたが、全線暫定供用後も依然として混雑度が1.5以上を超え慢性的に混雑している状態であり、交通円滑化を図るため早				

期の全線4車線整備が必要であると考える。

したがって、対応方針（原案）のとおり事業継続に同意する。

事業評価監視委員会の意見

対応方針（原案）に対して審議を行った結果、「事業継続」で了承された。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・豊見城市をはじめ本島南部に位置する自治体の人口等の伸びが大きい。
- ・豊見城道路・糸満道路沿道には、豊崎タウン、潮崎タウンをはじめ、アウトレットモールあしびな一等の店舗増設、運転免許センターの移設、観光プラザていぐま館の開業等、様々な施設の立地が進んでいる。
- ・沖縄県の観光入込客数の増加に伴い、観光の起点となる那覇空港へのアクセス道路である豊見城道路・糸満道路の重要性が高まる。
- ・豊見城・糸満道路が全線暫定開通したが国道331号はいまだ交通容量を超過している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業進捗率約84%（H25.3末現在）、用地進捗率約100%（H25.5末現在）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・平成28年度完成4車線開通予定

施設の構造や工法の変更等

- ・今後工事を行う区間の橋梁幅員を見直すことで、工事費を2.8億円縮減予定。

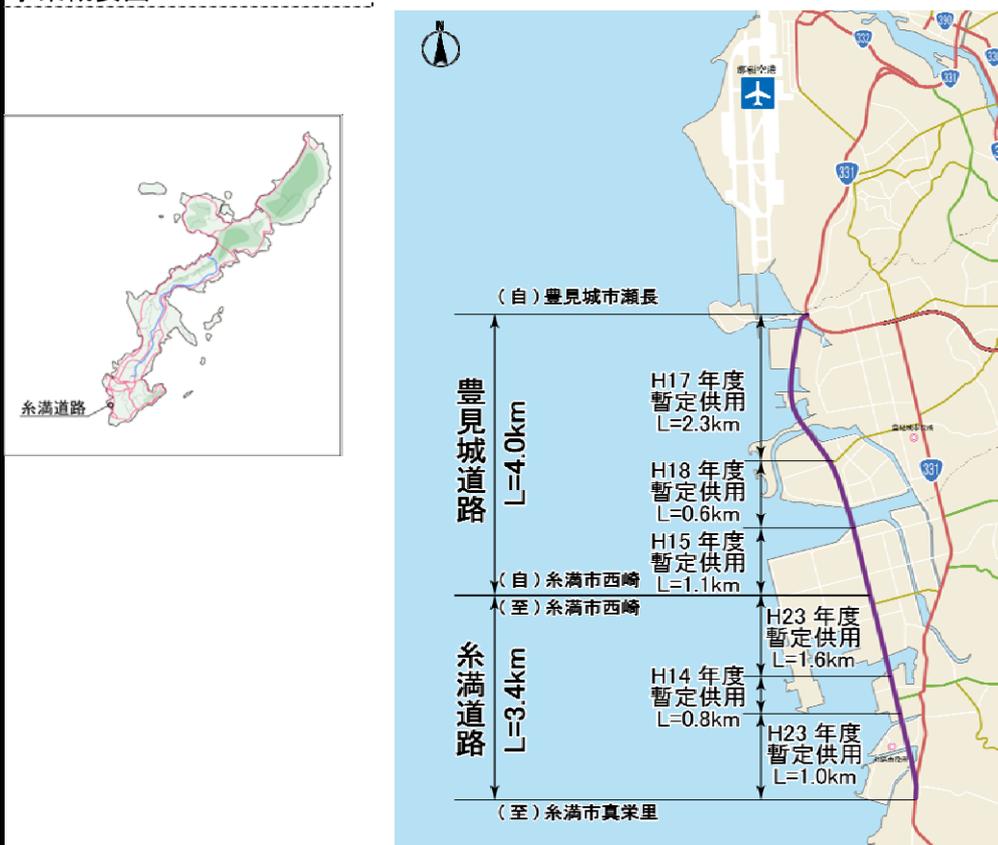
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は当初から変わらず、事業を継続する必要があるため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。